

Ⅰ. 日本で最も広い平野

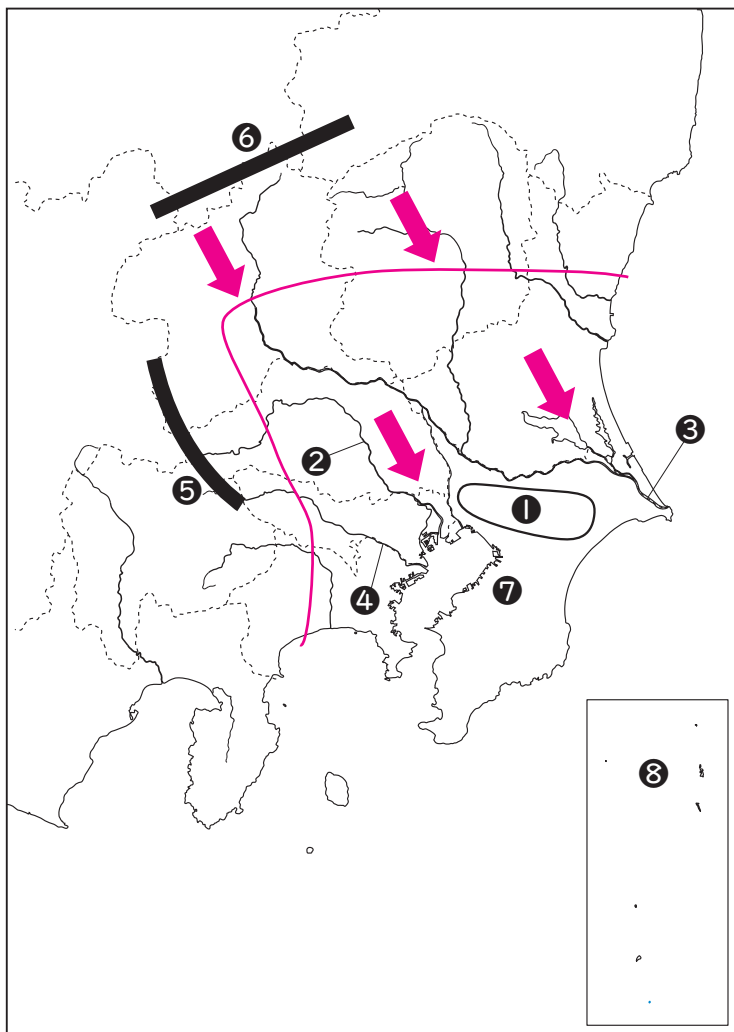
- (1) 関東地方で人口が集中している地域はどのような地形か、名前を調べて記入しよう。また、そのおよその範囲を図Ⅰに示してみよう。

関東 平野

- (2) 図Ⅰの①～⑧にあてはまる地形名を調べて記入してみよう。

①	下総	台地
②	荒	川
③	利根	川
④	多摩	川
⑤	関東	山地
⑥	越後	山脈
⑦	房総	半島
⑧	小笠原	諸島

図Ⅰ



- (3) ①の台地や②・③の川沿いの低地では、それぞれどのような土地利用がみられるか、地図帳から調べ、そのような土地利用になっている理由をまとめてみよう。

	土地利用	理 由
台 地	畑や住宅地	(例) 水が得にくいためかつては畑が多かったが、水道などの発達で近年は住宅地としても利用されている。
低 地	水田や住宅地	(例) 水が得やすく、居住しやすいため。

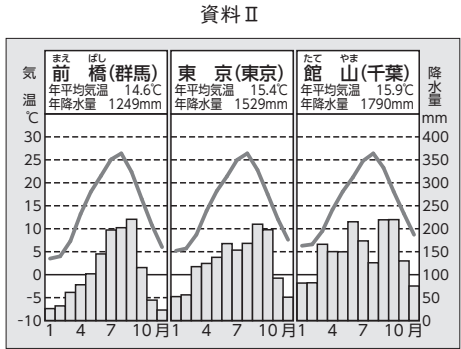
- (4) ①の台地など、関東平野の台地はどのようにして形成されたのだろうか。

(例) 浅間山や富士山などの噴火による大量の火山灰が積もってできた台地。

2. 内陸と海沿いで異なる気候

(1) 資料Ⅱから前橋と館山の雨温図を比較し、前橋の気温と降水量の特色を読み取ってみよう。

気温の特色	(例) 前橋の方が冬の気温が低い。
降水量の特色	(例) 前橋の方が冬の降水量が少ない。

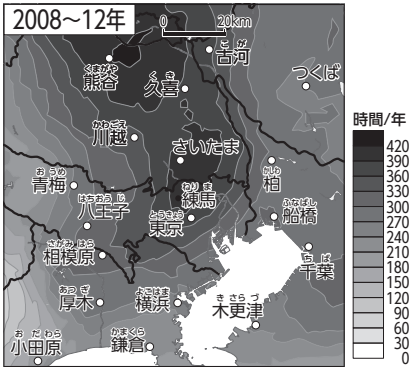


- (2) 冬になると関東平野に吹く乾いた風の吹く方向を、図Ⅰに➡で書き込んでみよう。
- (3) 前橋よりも館山の方が冬の気温が高い理由を考えてみよう。

(例) 近海を暖流の黒潮が流れているから。

3. 人口集中と気候への影響

資料Ⅲ 30℃を超えた時間数（2008～2012年）



資料Ⅳ 首都圏外郭放水路



(1) 資料Ⅲから読み取れることをあげ、そのような気温分布になる理由を説明してみよう。

読み取れること	理 由
(例) 都心から北（北西）方向に気温が高い地域が広がっている。	(例) ヒートアイランド現象が発生するため。

(2) 資料Ⅳのような巨大な放水設備が増えているわけを考えてみよう。

(例) 集中豪雨や局地的大雨によって発生する都市型の水害による被害を軽減させるため。

本時のまとめ

◆ 関東地方の地形の特徴について、「台地」と「低地」の語句を使って説明しよう。

(例) 関東山地や越後山脈などに囲まれた関東地方には、火山灰が堆積してできた赤土に覆われた台地と利根川や荒川、多摩川などの河川沿いにできた低地からなる関東平野が広がっている。